

みずほCustomer Desk Report 2025/01/29号(As of 2025/01/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	155.14 AUD/USD
TKY 9:00AM	154.94	1.0438	161.65	1.2455	0.6261
SYD-NY High	155.96	1.0492	162.70	1.2496	0.6294
SYD-NY Low	154.50	1.0414	161.60	1.2415	0.6236
NY 5:00 PM	155.53	1.0431	162.23	1.2443	0.6252
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,850.35	136.77	日本2年債	0.6800%	▲0.0200%
NASDAQ	19,733.59	391.76	日本10年債	1.1900%	▲0.0300%
S&P	6,067.70	55.42	米国2年債	4.1950%	▲0.0022%
日経平均	39,016.87	▲548.93	米国5年債	4.3299%	▲0.0035%
TOPIX	2,756.90	▲1.17	米国10年債	4.5334%	0.0001%
シカゴ日経先物	39,470.00	345.00	独10年債	2.5605%	0.0575%
ロンドンFT	8,533.87	30.16	英10年債	4.6115%	0.0265%
DAX	21,430.58	148.40	豪10年債	4.4320%	▲0.0400%
ハンセン指数	20,225.11	27.34	USDJPY 1M Vol	9.52%	▲0.32%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.62%	▲0.15%
NY金	2,767.50	29.10	USDJPY 6M Vol	9.57%	▲0.20%
WTI	73.77	0.60	USDJPY 1M 25RR	▲1.09%	Yen Call Over
CRB指数	306.23	0.89	EURJPY 3M Vol	9.75%	▲0.10%
ドルインデックス	107.87	0.53	EURJPY 6M Vol	9.75%	▲0.10%

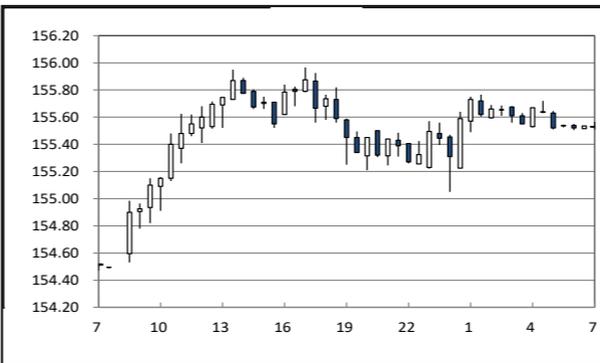
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	米	Event	結果	予想
1月28日	09:30	豪		NAB企業信頼感/景況感	12月 -2.0/6.0	-
	22:30	米		耐久財受注(前月比/除輸送用機器)・速報	12月 -2.2%/0.3%	0.6%/0.3%
1月29日	00:00	米		コンファレンスボード消費者信頼感	1月 104.1	105.7

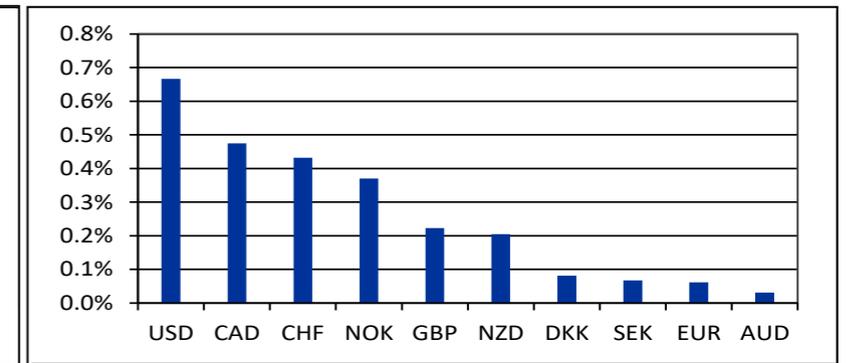
【本日の予定】

Date	Time	豪	米	Event	予想	前回
1月29日	09:30	豪		CPI/トリム平均CPI(前年比)	12月 2.5%/ー	2.3%/3.2%
	09:30	豪		CPI(前期比/前年比)	4Q 0.3%/2.5%	0.2%/2.8%
	09:30	豪		トリム平均CPI(前期比/前年比)	4Q 0.6%/3.3%	0.8%/3.5%
	22:30	米		卸売在庫(前月比)・速報	12月 0.2%	-0.2%
1月30日	04:00	米		FOMC政策金利(上限)	29-Jan 4.50%	4.50%
	04:00	米		FOMC政策金利(下限)	29-Jan 4.25%	4.25%
	04:30	米		パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.50-156.50	1.0350-1.0500	161.30-163.50

【マーケット・インプレッション】

本日は米1月FOMCの結果発表が予定されているが、利下げ見送りとなる見通し。市場も既にこの点を織り込んでおり、発表自体への反応は限定的か。注目が集まるのは、パウエル議長から語られる今後の政策見通しだろう。昨年12月FOMCで示されたドットチャートの中央値は年内2回の利下げであるが、この見通しに変化が生まれるか。ただし、米12月雇用統計では強い結果が示され、トランプ米大統領への政策期待から期待インフレ率が上昇している点には留意したい。そのため、今回の会合で過度にハト派的な姿勢に傾倒することは考えづらく、ドル円は会見時に一時ボラティリティが高まるがあっても、最終的にはレンジ内への回帰を予想する。

東京	東京オープン前に「チップ・鉄鋼・医薬品などへ関税計画」とのヘッドラインを受け、ドル買い先行になる中、154.94レベルでオープン。仲値は余剰だったかやや調整を挟む場面もあったが、ドル買い地合いは継続。午後に入ると大口の買いが持ち込まれ、東京高値となる155.95を示現。その後は一段の上値追いつとはならず155.53レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.53レベルでオープン。トランプ大統領の関税発言を受けて全般にドル高地合いで、立ち上がり155.96まで上昇。しかし、昨日の下落から反発していた米株先物の上値が重くなると円買いが見られ155.26レベルでNYに渡った。なお本日ハンガリー中銀が予想通り金利を据え置き、通貨フォワードは若干強含みで反応した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。米トランプ政権の関税政策によるインフレの再加速が懸念され、米金利の上昇と共にドル買いが優勢となり、155.96まで買われる。その後は買い一巡となり、155.26レベルでNYオープン。午前中に発表された米12月耐久財受注(前月比)が予想を下回った事を受け、155.05まで下落。しかし、その後は前日に軟調な動きを見せていた米株が上昇する展開を受け、その後は円売りが優勢となり、155.76まで反発。午後はFOMCの結果発表を明日に控え、155.60付近で様子見ムードが広がり、155.53レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台後半でスタート。トランプ大統領が鉄鋼や半導体等の輸入品に関税を賦課する計画があるとの報道を受け、ドル買い地合いが重しとなり、軟調な値動きが続き、1.0420レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と上昇幅を拡大する動きが上値を抑え、1.0430付近を挟んだ上値重い推移。午後材料難の中、1.0420付近で動意乏しい推移が続き、1.0431レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。